

5月 16-22 日

サムエル第二 1-3 章

103 番の歌と祈り

開会の言葉 (1 分)

神の言葉の宝

「『弓』と題する哀歌から学べること」 (10 分)

宝石を探し出す (10 分)

サム二 1:26 私の兄弟ヨナタン、あなたを失ってとても苦しい。あなたは本当に慕わしい人だった。私にとってあなたの愛は女性の愛よりも素晴らしかった。

ダビデがヨナタンを「私の兄弟」と呼んだのはなぜか。

(洞-1 730) 「兄弟」という語はまた、一つの総括的な主義の下に結ばれた、同じような意向や目的を持つ人たちにも適用されます。例えば、ティルススのヒラム王はソロモン王を自分の兄弟と呼びましたが、それは地位や立場が同等だったからというだけでなく、恐らく神殿のために材木その他の物資を供給する点で共通の関心を抱いていたためでもあったのでしょう。(王一 9:13; 5:1-12) ダビデは、「見よ、兄弟たちが一致のうちに共に住むのは何と良いことであろう。それは何と快いことであろう」と書き、肉親の兄弟たちの間の平和と一致が血縁関係だけで促進されるものではないことを暗に示しました。(詩 133:1) 実際、ダビデはヨナタンを自分の兄弟と呼びましたが、それは同じ親から生まれたからではなく、相互に愛情と関心を抱いていたからでした。(サム二 1:26) 性質や気質のよく似た仲間同士は、その性質や気質が悪い場合でも、やはり「兄弟」と呼ばれます。一箴 18:9 仕事を怠ける人は、破滅をもたらす人の兄弟。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

ダビデがヨアブを、アブネルを殺害しても処刑しませんでしたし、後に軍隊の長として立てたことは理解しがたいことです。でもヨアブを許して是認していた訳でないことはサム二 3:39 から明らか。そこでダビデは、ツェルヤの息子たち(アビシャイとヨアブ)が残忍なので「エホバがその悪事に応じて報いてくださいますように」と述べて、実際、後にソロモンに、ヨアブの処罰を託していることから分かる。私たちの目からは問題が正されないように見えても、エホバは必ず公正が行われるようにしてくださることを学べる。

聖書朗読 (4 分) サム二 3:1-16 (教励 第 5 課)

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）[話し合いのサンプル](#)を用いて話し始める。よくある反対意見に対処する。
。（[教励 第3課](#)）

再訪問（4分）[話し合いのサンプル](#)を用いて話し始める。無料の聖書レッスンについて話し、
jw.org コンタクトカードを渡す。（[教励 第20課](#)）

聖書研究（5分）[暮 レッスン 04 副見出し 5 と「こう言う人もいる」](#)（[教励 第19課](#)）

クリスチャンとして生活する

[107 番の歌](#)

「[愛は.....不正を喜ばない](#)」（7分）討議。「[愛があれば... 不正を喜ばない](#)」の動画を再生する。
。

「[愛は.....全てのことを希望\[する\]](#)」（8分）討議。「[愛があれば... 全てのことを希望する](#)」の動画を再生する。

会衆の聖書研究（30分）[暮 レッスン 04](#)

閉会の言葉（3分）

[2 番の歌](#)と祈り

[^ \(サム二 1:1-3:39\)](#) サウルの死後のこと、ダビデはアマレク人を打ち破って帰還し、2日間チクラグにとどまっていた。23日目に、サウルの陣営から1人の人がやって来た。衣服は引き裂かれ、頭に土をかぶっていた。その人はダビデに近寄り、身をかがめてひれ伏した。3ダビデが「どこから来たのですか」と尋ねると、その人は「イスラエルの陣営から逃げてきました」と言った。4ダビデは尋ねた。「戦いはどうなりましたか。話してください」。彼は言った。「兵士たちは戦場から逃げ、大勢が死にました。サウルと息子のヨナタンも死にました」。5ダビデは、知らせを持ってきたその若者に言った。「サウルと息子ヨナタンが死んだことをどうやって知ったのですか」。6若者は答えた。「私がたまたまギルボア山にいた時、そこにサウルがいて、やりにもたれ掛かっていました。兵車や騎手たちが彼に迫っていました。7彼が振り向いて私を呼んだので、『何でしょうか』と答えました。8彼は『おまえは誰だ』と尋ねたので、『私はアマレク人です』と言いました。9彼は言いました。『そばに来て、私を殺してくれ。耐え難い痛みだ。死んだ方がましだ』。10それで私はそばに行って彼を殺しました。負傷して倒れており、もう助からないと思ったからです。そして、頭から王冠を取り、腕輪を外しました。それらをここに、あなたのもとの持ってまいりました」。11するとダビデは自分の衣服をつかんで引き裂いた。ダビデと共にいた人たちも皆そうした。12そして彼らは、サウルと息子ヨナタンとエホバの民とイスラエル人のことで嘆き悲しんで泣き、夕方まで断食した。その人たちが剣によって倒れたからである。13ダビデは、知らせを持ってきた若者に尋ねた。「あなたはどこの人ですか」。若者



神の言葉の宝

「弓」と題する哀歌から学べること

[「[サムエル第二の紹介](#)」の動画を再生する。]

権威を与えられている人たちに敬意を示す。（[サム二 1:17, 18, 23, 24](#)。[塔 00 6/15 13 ページ 9 節](#)）

友に揺るぎない愛を示す。（[サム二 1:25, 26](#)。[塔 12 4/15 10 ページ 8 節](#)）

考えてみよう：「会衆の長老たちにどのように敬意を示せるだろうか。仲間の兄弟姉妹にどのように揺るぎない愛を示せるだろうか」。

^ [（サム二 1:17, 18）](#) ダビデは、サウルと息子ヨナタンのために次の哀歌を歌い、18「弓」と題するその哀歌をユダの人たちに学ばせるべきであると言った。その歌はヤシャルの書に記されている。

^ [（サム二 1:23, 24）](#) サウルもヨナタンも生涯ずっと愛され、大切にされた*。死ぬ時も2人は離れなかった。ワシよりも速く、ライオンよりも強かった。24 イスラエルの娘たち、サウルのために泣け。サウルはあなたたちに緋色の*服と装飾品をまといせ、服に金の飾りを付けた。